



日本の国蝶オムラサキ
東日本に多い綺麗な型
緑区にて 平尾 隆

発行 一般社団法人 相模原市医師会

蒸し暑い季節が到来します。新型コロナだけでなく、熱中症にも留意したいところです。今回のテーマは「補聴器」と「新型コロナウイルス感染症流行下のこころの健康」です。補聴器は慣れるまでの使い始めが肝心なようです。こころの健康を保つためにはストレスと上手に付き合うことが大切とのこと。いずれも興味深い内容となっておりますので、お役に立てれば幸いです。

補聴器を快適に 装用するために ～主に加齢性難聴の方々へ～

はじめに

わが国では、約11%の人が難聴であると言われていますが、今後さらに高齢化が進んで補聴器を必要とする人も増加すると考えられます。「補聴器をつけたけれど満足できない」という意見をよく耳にしますが、それは補聴器を正しく装用できていないためです。そこで今回は、主に加齢性難聴の方々へ補聴器の装用を開始する際の注意点などについてお話しします。

補聴器が必要だと思ったら

補聴器を購入して快適に装用するためには、補聴器に関する専門的な知識を持った医師・言語聴覚士・認定補聴器技能者などのアドバイスが必要になります。それはなぜかというと補聴器は、“人の生命や健康に影響を与えるおそれがあるために適切な管理が必要とされる管理医療機器”だからです。間違った使い方をするとう補聴器の故障や寿命が短くなる等の可能性があったり、大きな音が出てかえって難聴を悪化させてしまったりするおそれもあります。

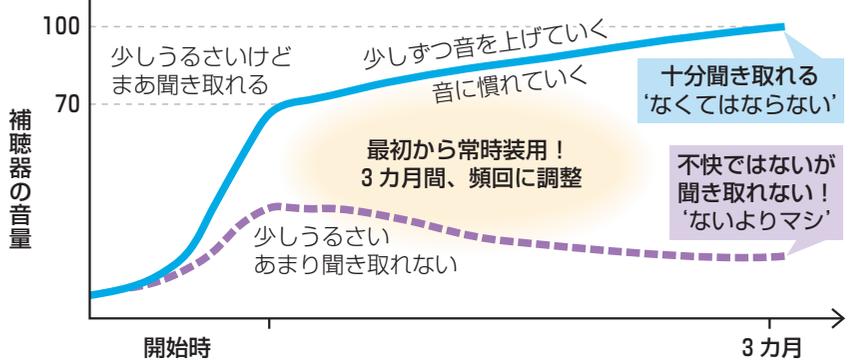
補聴器を適切に選んできちんと調節するためにも、まずは耳鼻咽喉科や補聴器専門店（認定補聴器技能者が在籍する店）で相談されることをお勧めします。

補聴器は使い始めが肝心 (聴覚リハビリテーション)

難聴の方は音に対して脳の機能が弱くなっているため、補聴器を使い始めたときに大きな声や音を聞くと、不愉快に感じて数十分程度の会話でも疲れてしまうことがあります。そのため、補聴器の音量を弱めに設定して使い始めますが、音に慣れる必要があり、なるべく初日から寝るときやお風呂に入るとき以外は一日中装用することをお勧めします。これを聴覚リハビリテーションといいます(図1)。このような装用を継続すると、不快感が徐々に軽減して装用効果を実感できるようになります。

およそ3ヶ月かけて補聴器の音量を徐々に上げていき、目標値に達したところで維持します。この間は、補聴器を購入したところこまめに通う必要があります。

図1 補聴器による聴覚リハビリテーションのイメージ



出典「日本耳鼻咽喉科学会会報123巻12号1410頁」

補聴器購入の助成制度

補聴器は決して安い買い物ではありません。そこで、補聴器購入に対する助成制度をなるべく活用してください。相模原市では大きく3つの制度があります。1つ目は、障害者総合支援法による補装具費支給制度で、聴覚障害で身体障害者手帳を持つ人を対象に補聴器を購入する際の自己負担額が1割となります。2つ目は、補聴器購入費助成事業で、身体障害者ではない軽度・中程度難聴児（18歳未満）を対象に同じく自己負担額が1割となります。3つ目は、確定申告における医療費控除で、補聴器相談医による書類があれば補聴器購入費が控除される場合があります。

おわりに

近年、中年・高齢期の難聴は認知症発症の最大の危険因子ともいわれています。補聴器は使う方の要望に応じて目立たないものや、逆にファッションナブルなものなども登場しており、きっと自分に合った補聴器を見つかることができると思います。(図2)

現在私たちは、補聴器が必要な人にしっかりとしたサポートができるように取り組んでいるところです。最近聞こえづらいな？と感じたら、まずは耳鼻咽喉科を受診してみてください。

図2 補聴器のタイプ

- 耳かけ型** 耳にかけて使うタイプで、耳あな型に比べ、操作が簡単です。また、とても小さく、カラフルでおしゃれなデザインも増えています。レシーバー（スピーカー）が本体から分離され、耳の穴の中に収まるRIC（Receiver in Canalの略）というタイプもあります。
- 耳あな型** 耳あなの中に収まるタイプです。小型軽量で目立ちにくく、耳（耳介）の集音機能を活かすことが出来ます。耳の形状と聞こえの程度に合わせて作るオーダーメイドタイプが一般的です。
- ポケット型** 本体とイヤホンをコードで繋ぐタイプです。スイッチやボリュームが比較的大きく、操作が簡単です。マイク内蔵型では話し相手に本体を向ける事で聞き取りやすくなります。

出典「聞こえにくいと感じていませんか？」（補聴器販売者の技能向上研修事業 厚生労働省委託事業）

参考文献：Japan Trak 2018 調査報告
(相模原市医師会 平尾 隆)

